



## クリエイティブ人材移住・交流促進事業報告



### 【 目的 】

クリエイティブ人材にターゲットを絞り、  
関係人口の創出や、移住（二拠点移住を含む）を希望する関心層の拡大を目指す。

### 【 実施内容 】

連続講座「GIFU MEME」の開催

対 象：主に名古屋圏在住のクリエイティブ層

期 間：7月～9月（計5回）

実施地：恵那市の3エリア  
（笠置町、中野方町、飯地町）

人 数：10名

参加費：無料

募 集：インターネットによる公募

<http://gifu-meme.com>



## 事業実施にあたって

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指す とあるが



※出典：総務省「関係人口」ポータルサイト (<http://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/>)

様々な関係人口の中でも、単なる「関係者」を増やすのではなく、

**地域に思いを寄せる『意志ある協力者』を増やしていきたい。**

## 実施にあたってのポイント①

---

地域



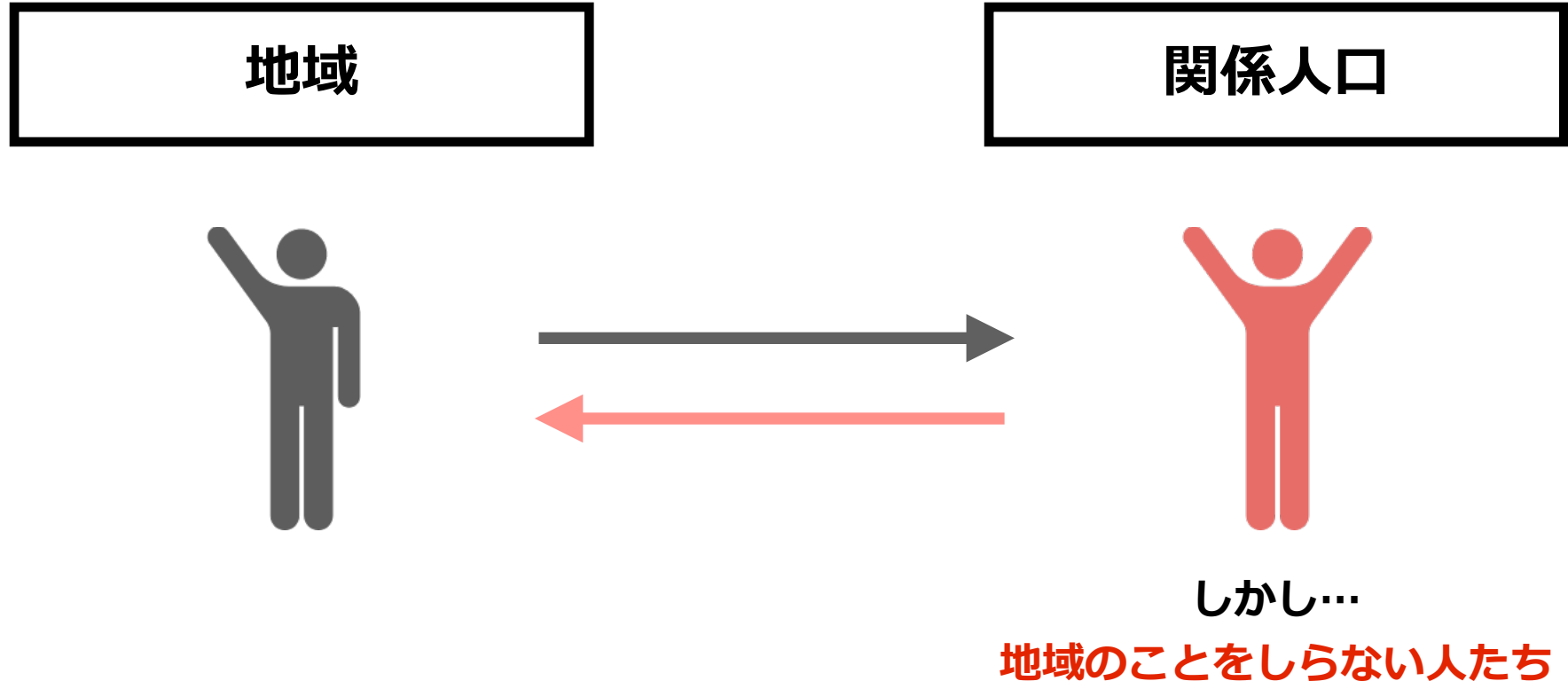
関係人口



外部の人材やスキルを活かして  
課題に対しての新しい気づきがある  
新しい挑戦への後押しとなる

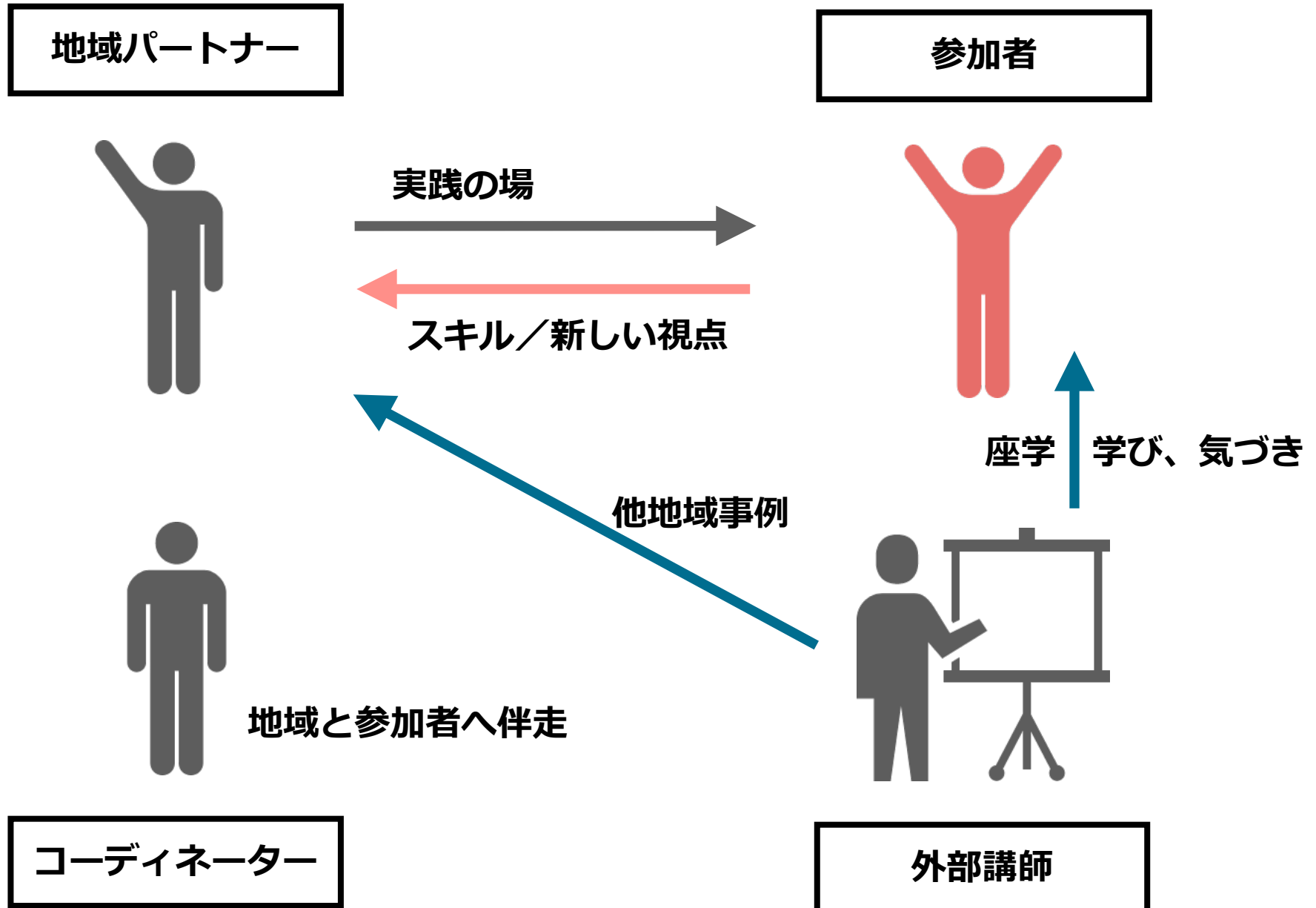
自分のスキルを活かしたい  
地域に関わりたい  
成長したい

## 実施にあたってのポイント②



地域らしさを感じ取ってもらいながら、そこに新しい視点やスキルを掛け合わせて、自分には何ができるのかを考えていくことで、地域への当事者意識を着火させる。

# 体制





地域

クリエイティブ

“週末拠点づくり”ワークショップ

# GIFU MEME

クリエイティブなスキルと発想を活かし、地方にもうひとつの“居場所”をつくろう。

自然豊かな恵那山麓のふもとで、

新しい「暮らし方・働き方」を発明する連続ワークショップ開幕！



# 受け入れ地域パートナー



## 恵那市飯地町

### —現代の「ムラ」をデザインする

標高600mに600人が暮らす、恵那市で一番小さな町「飯地町」。コンビニも信号すらもなく、決して便利とは言えない町ですが、住人のほとんどが顔見知りで、一年を通した行事や町の手入れもみんなで協力しあっています。素朴な里山の自然、昔からの暮らしの知恵、人とのつながりを感じ取りながら、豊かに暮らしていくための「現代のムラ」のかたちを考えていきます。

パートナー：飯地町（岡田）



## 恵那市中野方町

### —大江自然農園のブランディング

棚田百選に選ばれた美しい「坂折棚田」があり、日本の田舎の原風景が残る中野方町。2012年に家族でこの町に移住した「大江自然農園」は、無肥料・無農薬の野菜を育て「旬の野菜便」やエゴマ油として販売しています。このチームでは、地域の文化に根ざしながら循環する農を追求する大江自然農園のブランディングを考えます。

パートナー：大江自然農園



## 恵那市笠置町

### —栃久保地区の魅力を可視化

木曾川沿いの急斜面にある小さな集落「栃久保地区」。江戸時代に築かれた立派な石積みの棚田が広がる地域です。空撮写真からも分かるように周りは山々に囲まれ、各家庭では無農薬の柚子が育てられ、特産品として様々な商品開発されています。このチームでは、他エリアと比べて祠(ほこら)が多く存在し、「神々が宿る集落」とも言われる栃久保地区の特徴を魅力的に発信する方法を考えます。

パートナー：おへマガ（園原）・栃久保棚田保存会（遠藤）